

# ハニトの〇〇な話

No.2



## 杉原千畝記念館の大事な話

シャローム！みなさんはこの言葉の意味もう分かるよね。ヘブライ語で「平和」という意味の一日中使える挨拶の言葉です。イスラエルへ行けば「シャローム」が多く聞こえるけれど、八百津町でも聞こえることが多くなりました。それは杉原千畝記念館のおかげだと思います。

記念館ができたのは約13年前です。それまで、八百津町へ来るイスラエル人のお客さんはイスラエル大使館関係か私たち国際交流員のそれぞれの家族くらいでした。ツアーで来るイスラエル人の観光客は、ほとんどいませんでした。

記念館ができてからイスラエルの団体旅行者が八百津町へ来るようになりました。最初の年は数百人だけでしたが、その数が徐々に増えてきて、多い年には2,000人くらいになりました。この13年の間に八百津へ来たイスラエル人は1万人を超えます。今では、八百津町の杉原千畝記念館へ来るのが、日本旅行でかせないスポットとなってきました。すごいと思いませんか？

開館してから今まで記念館を訪れたお客さんの人数は256,739人（平成25年9月30日現在）です。年間の平均は19,723人です。最近実施しているアンケートによると日本人も近隣からだけではなく、北海道や愛媛などの遠いところからも訪れてます。杉原さんの名前を知らない日本人がいないくらい有名になりましたね。

八百津町民としてこういうデータを聞くと嬉しくなりませんか？杉原さんのことがあって八百津町へ来た私は本当に嬉しく思っています。

杉原さんの行動と、それを世界に知らせようと頑張っている八百津町を誇りに思っています。

八百津町にはいろんなすばらしい物がたくさんあります。どれもユニークで自慢ができる物ばかりですが、この杉原千畝記念館は世界中でどこを探してもここにしかありません。みなさんもそのことを忘れず、できるだけ多くの人に知ってもらえるように声をかけたり、記念館へ連れてきたりして、みんなで杉原さんの人間愛を伝えましょう！

### 国際交流協会コーナー

9月8日に行われたミーティングの参加者は13人（内子ども3人）、新しいメンバーが2人加わりました。イエィ！、(\*´v`\*)  
今回の活動はマイク・ライオンズさんの指導で世界のクイズカードを作りました。このクイズを産業祭の協会のブースで出しますので、是非皆さん挑戦してみてください。

八百津町の国際交流協会はいつでも新しいメンバーを大歓迎しますので、興味のある方は是非参加してみてください。楽しい活動はこれからもたくさん続きます。行ってみたいと思った方は役場2階産業課（☎ 43-2111(内線 3035)）または杉原千畝記念館・ハニト（☎ 43-2460）までご連絡ください。お待ちしております。

ハニトさんへの質問は  
hanito@town.yaotsu.lg.jp までどうぞ！